

1. 概要

- 世界中のESD実践者にとって、より良い取組に挑戦する動機付けと、優れた取組を世界中に広めることを目的として、我が国の財政支援により、ユネスコが、**ESD活動に取り組む機関または団体**が実施する優れたプロジェクトを表彰するもの。（2014年ESDユネスコ世界会議において創設を発表、2015年～2019年までは毎年実施、それ以降は隔年実施）。
- 「ESD for 2030」枠組みの優先行動 5 分野
 1. 政策の推進
 2. 学習環境の変革
 3. 教育者の能力構築
 4. ユースのエンパワーメントと動員
 5. 地域レベルでの活動の促進のうち、一つ以上の分野でESD活動に取り組んでいる機関または団体が実施する、ESDに関する優れた事業を表彰。
- 受賞機関／団体には、1件当たり5万米ドルの奨励金を授与。最大3件を表彰。

2. 選考基準

- ESDが持続可能な開発を支える変容をもたらす教育として行われており、個人及び社会の変化につながっていること。
- 持続可能な開発に必要な三つの側面（社会、経済、環境）を一体的に取り扱っていること。
- イノベーションを促すアプローチを採用していること。

3. 選考手続き

- ユネスコ加盟国またはユネスコ公式NGOの推薦（各団体最大3件）に基づき、世界5地域から選ばれた国際審査員（5名）による審査会で選考を実施。
- 選考結果を踏まえ、ユネスコ事務局長が受賞機関／団体を決定。



<過去の受賞団体>

- <2015年> Asociacion Seres (グアテマラ・エルサルバドル)
Jayagiri Centre (インドネシア)
Rootability (ドイツ)
- <2016年> 岡山ESD推進委員会 (日本)
Centre for Community Regeneration and Development (カメルーン)
National Union of Students (イギリス)
- <2017年> Zikra for Popular Learning (ヨルダン)
Sihlengeni Primary School (ジンバブエ)
Hard Rain Project (イギリス)
- <2018年> the Namib Desert Environmental Education Trust (ナミビア)
the Kalabia Foundation (インドネシア)
the Let's Do It Foundation (エストニア)
- <2019年> the Camphill Community Trust (ボツワナ)
the Sustainable Amazon Foundation (ブラジル)
the City of Hamburg (ドイツ)
- <2021年> World Vision Ghana (ガーナ)
Media Development Center of the Birzeit University (パレスチナ)
Kusi Kawsay School (ペルー)
- <2023年> 金沢大学 (日本)
Long Way Home (グアテマラ)
Zimbabwe Institute of Permaculture (ジンバブエ)



ユネスコ／日本ESD賞 2023年の受賞者

51か国及び7機関から92件の推薦があり、3団体が選ばれ、我が国からユネスコへ推薦していた 金沢大学のプロジェクトが受賞しました。

我が国から推薦した案件が受賞するのは2016年の岡山ESD推進協議会のプロジェクト以来、2例目となります。

我が国の受賞案件

【事業名】 「日本のユネスコ生物圏保存地域（ユネスコエコパーク）およびジオパーク内の遠隔地域活性化を目的とした世代間学習」

【実施主体】 金沢大学（金沢大学国際機構 MAMMADOVA AIDA（ママードヴァ・アイダ）准教授）

【事業概要】

白山ユネスコエコパーク及び白山手取川ジオパークの登録地域を活用したESDの実践。少子高齢化問題を抱える離村での外国人留学生と地域住民の交流が、両者の価値観の変化や行動変容に繋がっており、持続可能な社会実現に向けた地域活性化に貢献している。



© Kanazawa University

その他の受賞案件

Long Way Home グアテマラ

気候変動の緩和、教育や水へのアクセス、ジェンダー、人権といった持続可能な価値をカリキュラムに統合させ、誰もが手が届く質の高い教育を、周縁化されたコミュニティに提供している。

Zimbabwe Institute of Permaculture ジンバブエ

学校の土地を地域のニーズに合った生産的な菜園に変えている。食料の質を高め、世代を超えた包括的な学習プロセスにより、学校とその教育・学習環境の発展に貢献している。